寫眞週報

情報局編輯
十二月十六日・第二百五十一號・十セン

武器彈藥を着物にまとひ
酒食に流すは誰ぞ
戰費は諸君の懷の中にある
この年末に五十億を積んで
沒した武勳の代艦を造らう

「時の立札」に寄へ樣そのほかに御利用下さい

天覽の榮に輝く　大東亞戰爭陸海軍作戰記錄畫

天皇　皇后兩陛下には十一月二十九日宮中において、陸に、海に、空に皇軍不滅の武勳を傳へる大東亞戰爭陸海軍作戰記錄畫三十九點を親しく天覽ならびに台覽あらせられ、數年ひとしほ深き御感銘に浴されたと承はる

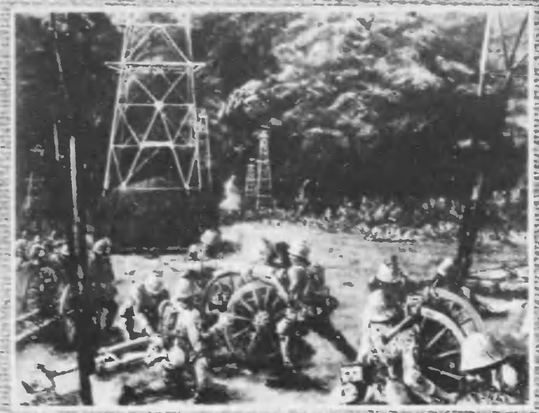
なほ日本畫壇の精鋭が戰場の赤誠をこめたこれら記錄畫は十二月三日から東京上野の帝室博物館に開催中の「大東亞戰爭美術展」に特別出陳されてゐる

十二月八日の真珠灣　藤田嗣治作

コタバル　中村研一作

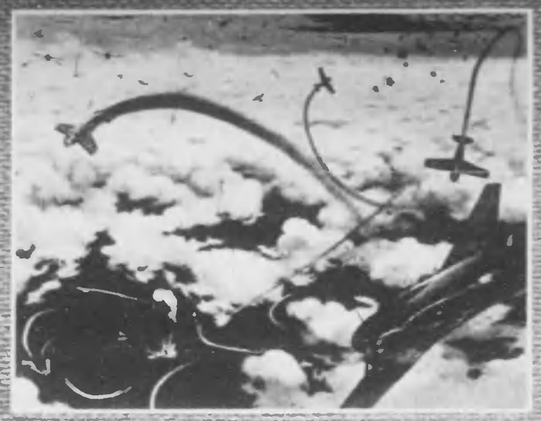
天覧の栄に輝く

⇧ 海兵ボレンベンに降下す　藤田吾郎作



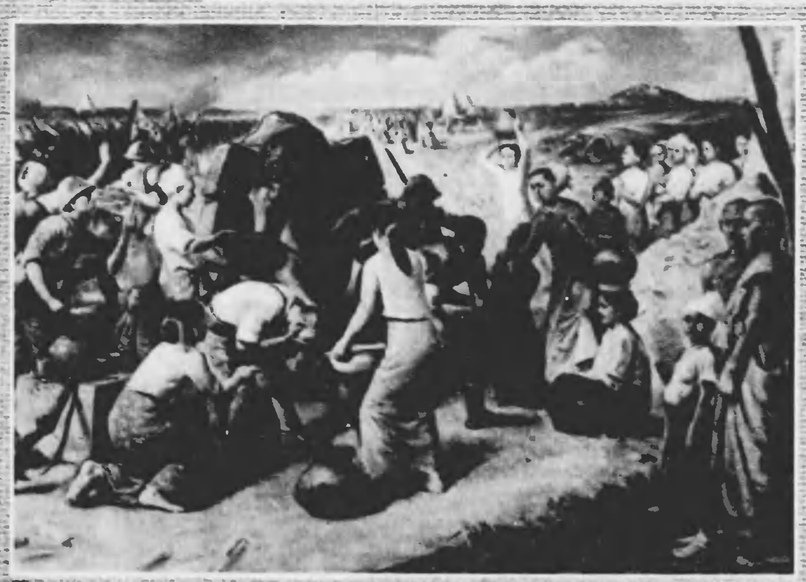
⇧ 青池高射砲の絶攻撃陣　山口蓬春作

⇨ 山下パーシバル兩司令官會見圖　宮本三郎作



⇧ バターン・アパ南方海岸線强襲　藤島武二作

⇧ 南海の道（コレヒドール）　橋本健一郎作



⇧ 四月八日の記憶（バタアン）　向井潤吉作

⇨ マンダレー人域とビルマ人の協力　伊藤孝三郎作

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

今時、陸分珍らしい、だがカメラが真に撮へた街頭風景です。こんな人はアメリカに行つても見られませう

勿論湯河原、熱海、伊東は伊豆の温泉地です。病人には保養も必要でせう。だが『たつた今、笑つて散つた友もある』

二つに貯蓄の餘裕あり

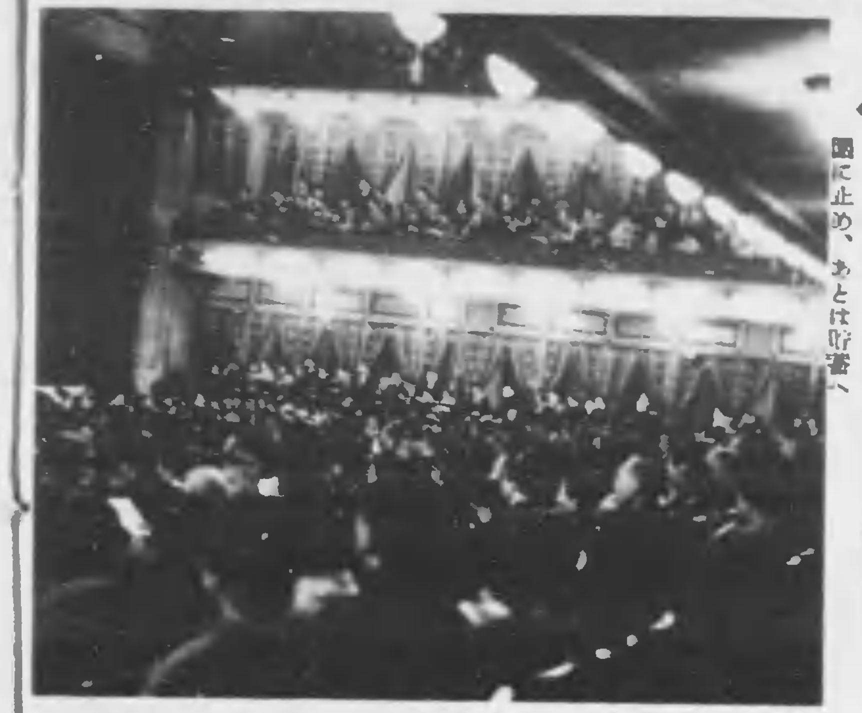
十二月の目標五十億圓

國内も戰場だ。大東亞戰爭に對する一億國民の心構へは、はつきりてきてゐる筈です。では、銃後のあげる戰果は？　まづ貯蓄です。初めてのわが戰艦喪失が發表された時、『こりや、もつと、彈丸切手を買はな、あかんわい』言葉は輕いが、決意はきつぱりと、本年度の下半期百二十一億完遂へ、こぞつて氣構へのほどを見せた筈です

フランスでは、鴉や鼠の公定價さへあるとさへいはれてゐます。それに較べると、大東亞戰爭始つて以來、われ〳〵の國民生活は、『本當に有難いことだ』といふ言葉だけでは言ひ盡せないほど、ゆとりのあるものではなかつたでせうか。貯蓄の餘裕は、此處にも、其處にもあります。こゝに指摘する寫眞などはごく一部分に過ぎません。さあ、下半期百二十一億の貯蓄戰は、何が何んでも勝ち拔きませう

こゝに貯蓄の餘裕あり

⇦ パーマネントの是非は論じません。だが髪、形より心が大事。時と金を國家に捧げてこそ、銃後のはなを誇れます



⇦ つもり貯金のうちでも『觀たつもり』が一番しやすいやうです。觀劇もあくまで健全娯樂の範圍に止め、あとは貯蓄へ

⇦ デパートが店を開くのが、午前九時です。開店と同時にこの人の群。九時からデパート出動とは、なんと、まあ……

⇦ 寒いのにビヤホールをとりまく行列です。かうまでして飲まなくとも、さうだ、道は彈丸切手にも通じてゐます

隣組の貯蓄作戦

こゝに載せた隣組貯蓄の實例は、情報局が日本放送協會と協力して、『あなたの隣組では、どうやつて貯蓄や國債消化の實績をあげてゐますか』の題て、廣く一般から募集し、應募約三百點の中から嚴選、採用となつたものゝ一部です

應募實例のどれにも、あくまで貯蓄戰を勝ち拔かうとする銃後の闘魂が溢れてゐますが、私たちはどうしても負けられぬ戰爭を控へてゐます。もつと〳〵創意を凝らし工夫を加へて、先づ十二月の貯蓄目標五十億圓をやりとげませう

〝臺所の無駄を省いて〟

石川縣金澤市長町五番丁六四番地ノ四 金澤貯金支局事務員 安田外枝

私達の隣組は十一世帶を一つの班としてをります。二月に一度の國債の割當は、約二百五十圓程度ですが、その日暮しの小賣商店が多いので、國債の割當を一時に購入することは、定つた收入のある生活ではないので、かなりの重荷でした。そこで組長さんの發案で、毎日の副食費の節約により、國債の購入金の一部にあてることを皆が贊成、早速節約の貯金を實行にうつすことになりました

從來の私達の生活では、一人平均三十錢見當でした。それは無駄な買物が多く、魚や野菜を餘分に買ひ、餘れば味が惡くなるといつては無理をして食べたり、捨てたりしてをりました。この時局に、無駄を廢し今まで捨ててかへりみなかつた臺所の屑を生かして使ひ、野菜の切端の中にも榮養價滿點の物が多く、生かせば立派な料理が出來ることを考へ、また野菜果物等は皮と實との部分に一番榮養がありますから、皮付のまゝ使用し、ジャガイモ等は皮をむけば二割方目方がへりますが、ゆでて薄皮だけむけば三分ぐらゐしか減りません。もし皮をむけば必ずこれを利用し、天日でほしてすり鉢ですつて、片栗粉代用にして用ひるやうにしました。かうしてなるべく安くて榮養のあるものを買ふやうにすれば、平均一人當り五錢から七錢ぐらゐの節約が出來ますので、毎日當番を定め、節約した金を集めて組長さんの所へもつて行きます。組長さんの所では五日分まとめて郵便局に預入してくださることになつてをります。一戸當り少くとも一ヶ月五圓から八圓ぐらゐの節約が出來、二月で十五、六圓程度になりますので、これを國債購入費のたしとしてをり、少しでも多く買ふやう努めてをります。時には苦しいと思ふこともありますが、國債となり國につくして自分にもどることを思ひ、明るい希望を胸一杯に、切りつめた毎日の生活をおくつてをります。女で出來るご奉公はこれに越したものはありません。日本中の主婦が皆この心掛けでゐて下されば、もつと多くの國債、債券も何の苦もなく消化されることと思ひます

〝毎月毎戸平均十六圓〟

名古屋市千種區[illegible]通二ノ二丁目 町内會長 村橋又平

私共の町内會は、名古屋市の東部住宅街に接した小賣商人の多い經濟的に惠まれない町で、世帶數七十五、その内、約十二、三ほどは二階借りや納屋、工場等で、實世帶は六十餘であります。貯蓄は國民貯蓄、婦人會貯蓄等はもちろん、强力に實施してゐますが、このほか毎日掛ける八幡日掛貯金、毎月八日の大詔奉戴日に貯蓄する大東亞建設米英擊滅貯金、高度節約辛抱貯金と、十二月八日に發會式を擧げる大詔奉戴記念高額貯金と、簡易保險貯金の五種類があります

毎日掛ける八幡日掛貯金は、五年前はじめ、最初は一日十三圓七十錢づゝで、加入者五十人でしたが、だん〳〵増加し、昨年は六十四人で一日六十一圓七十一錢、一年二万二千餘圓となり、今年は七十人で、九十一圓七十錢、一年三万三千餘圓となつてゐます。米英擊滅大東亞建設貯金は、大東亞戰開始と同時に發會式を擧げ、毎月八日に貯金しますが、これは一日掛金八錢で、預入口數が自由ですから、大變人氣を呼び、第一回十六年十二月は預入口數六万餘口、四千八百餘圓もあり、以來、毎月七千口、八千口と預入れてゐます。高度節約辛抱貯金は各家庭に大きな太い竹筒一本と、五十錢預入の主婦名義の貯金預入通帳を、町内から一冊づゝ全家庭に贈り、そして家庭で一生懸命節約した金をこの竹筒に入れて、毎月一日に集めて貯金する申合せをしたところ、最初の月は二百九十圓、加入者六十五人でしたが、それが三百五十圓となり、四百三十圓となり、十月は五百四十餘圓となりました。この辛抱貯金を開始してから、婦人の協力で全町が非常に節約することになりました。簡易保險貯金は全町一人も洩れなく本年五月加入しまして、毎月二十五日に集めてゐます。大詔奉戴記念高額貯金は十二月八日に發會式を擧行しますが、いま豫約でも二万圓を突破してゐますから、十二月中には、これまた三万圓位は貯蓄できると信じます。かやうに小さな町内會が、今では一ヶ月一世帶六十餘圓の驚くやうな貯蓄をしてご奉公し、先般も大藏大臣から表彰されました

〝大人と子供の貯蓄合戰〟

栃木縣宇都宮市大寛町二ノ二二九 第三隣組長 小林周治郎

私の隣組では子供常會の申合せにより、お小遣の中から毎日一錢づゝ積立てゝをります。加入者は國民學校入學中の兒童です

私は子供のことですから、樂しみの中に思はず知らず積立てるやうにと、集金のカードを渡して一日一錢持つて來ると、その日の欄へ私の印を捺してやります。カードは下げるやうに出來てをり、家の中の見易い場所に下げておきます

子供は私の印の重なるにつけ、また空欄が一つづゝ減つて行くのを見て樂しみ、その日の貯蓄を待つやうになつてきました。誰いふともなしにこの空欄を、敵米英の飛行機、軍艦と思ひ、毎日の一錢の爆彈でこの空欄を擊滅して行かうといふことになり『米英擊滅貯蓄』と名付けました。最近では、お母さん達が學校に上らぬ子供や、また姙娠中の母から生れる赤ちやんのために參加したいと申込みがあり、米英擊滅の勇士が増加しつつあります。集金の方法は六年生以上の生徒が二名づゝ交替で集金し、私宅へカードと金を持參し、捺印の上、再び子供へ返します

この子供の貯蓄に動かされたお母さん達も、子供に負けないやうにと、十二月八日の大東亞戰爭一周年を記念して、次ぎのやうな申合せをいたしました。臺所の節約を圖つて毎日五錢づゝ積立てることです。いよ〳〵十二月八日より大人と子供の貯蓄合戰が開かれる譯です。大人の集金も子供貯蓄と一緒に子供が集めることになり、そのお禮と貯蓄向上の意味をもつて、毎月八日、各家庭の廢品回收代を子供貯蓄に振り當てます

アジア歴史資料センター Japan Center for Asian Historical Records http://www.jacar.go.jp/

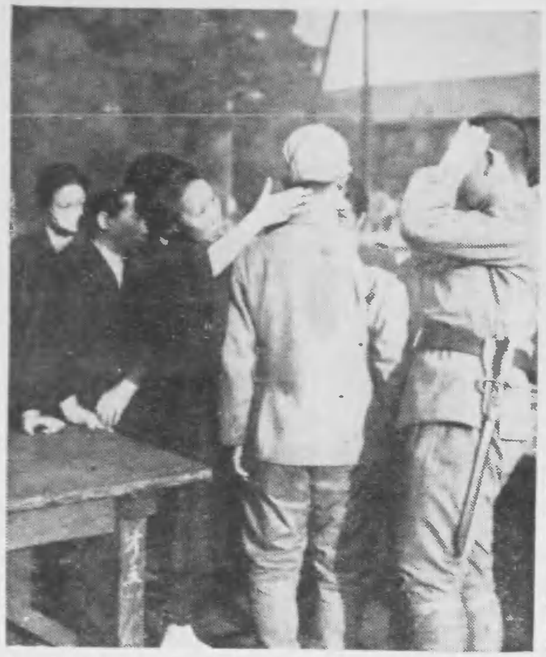
軍國の母敢然一日入營

—東　京—

皇軍の崇高な精神と激しい練武の生活に徹して、軍國の母としての心構へをいよ〳〵ふるひおこしませうと、大日本婦人會東京市各區支部員八百名は、十二月一日早朝、東部第六部隊の營門をくゞり、一一日入營の力強い姿を示しました

この日九時、永澤東部第六部隊長の訓示を受けて、冬中隊に配屬された婦人部隊は、まづ營庭で兵器の說明を聽き、高射砲の射撃を見學、ついで擲彈筒を自ら投げて戰場氣分に浸りましたが、お昼には食事班に入り自分の手で兵食を攝つてのち、銃劍術や射撃を練習、午後三時、除隊氣分まで味はつて奉仕した一日の訓練を終りました

なほ、當日は東部第七部隊へも八百名の婦人部隊が入營、皇品近衛師團長の査閱をうけましたが、つゞいて三日には、東部第八部隊でも同樣一日入營が行はれ、戰ふ國の母たちの戰ふ意氣を昂揚しました



内務班に入り教官殿から懇切な訓示を聞く（右頁上）

⇨繃手に木銃を握つて天晴れな武者振りです

⇧心を引緊めて米英撃滅の狙ひを銃にこめる

⇩妻たちよりお上手だワと兵隊さんのミシンを見學

⇦細心の注意を配つて三角巾の使ひ方も習得する

⇦お腹を空かして味はふ兵食の美味しいこと

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

見よ！この敗戰の姿を

米英俘虜群を生産擴充に　東京

⇧神妙に皇軍將校の指揮をうけてゐる俘虜

何を思ふか、食器磨きに餘念もない⇧

南方各戰線でわが軍門に降つた莫大な數に上る米英の俘虜は、その後、皇軍の道義に基づく公明正大な取扱をうけて內地、朝鮮、臺灣はじめ各地の俘虜收容所に收容され、また戰ふ日本の生產擴充に一役買つて各種の勞役に就いてゐる

南方の諸民族ばかりではなく、わが國內でも、無自覺な米英崇拜が長い間、根强く蔓つてゐた。それがどうだつたらう。大東亞戰爭が勃發するや皇軍將兵は、戰前あれほど强大を誇つた米英軍を、緒戰において殆んど鎧袖一觸してしまつた。そして、感銘深い數數の戰果のうち、最も手厳しい教訓は、內地に送られてきたこれら俘虜の姿ではなからうか

本誌第二百四十三號所載『二人の米兵』の中にも、軍人としての矜恃や祖國愛を全く忘れ果て、一瞬一秒の生命に執着してゐる米兵の醜い姿が、餘りなく描かれてゐる。また彼らが所持してゐる軍隊手帳には、俘虜になつた時の心得がこまゝと誌されてゐるといはれる。祖國の運命を賭した、戰爭といふ最も厳肅な現實を甘受できない彼等が、どうして平時に優秀であり得るだらうか。世界は、彼等の表面的な物質文明の華やかさに眩惑されて、かういふ分り切つた事實を見逃してゐた。彼らの物の見方や、考へ方が世界を支配してゐる限り、世界の不幸や、汚辱が拭ひ去れないことは、いふまでもない。大東亞戰爭も一面、彼らの物質的な、利己的な物の見方、考へ方との戰ひである。われ〳〵の心の中に、いはゆる米英思想の一片でも殘つてゐるうちは、戰ひに勝つたといふことはできない

日本人の考へ方では、到底表現の方法が見つからないこれら俘虜の姿を前にして、われ〳〵は、三省も、四省もしなければならないところであらう

★　★

⇦親切な診斷をうけてゐる病兵

⇦居室で、新聞や雜誌を讀み耽つてゐるアメリカ士官たち

⇦東京港で一生懸命荷役に從事

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ゴマとがんぎ皆たし納献

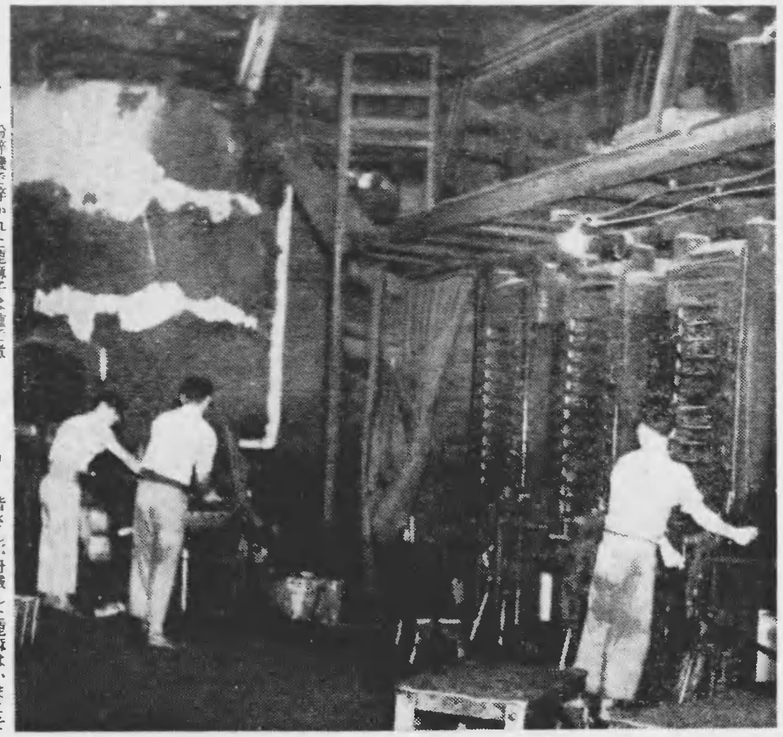
⇨ 東部集荷工場の倉庫は送られた蓖麻子の俵で埋まつた

⇨ 一本と名称に作つた蓖麻は立派に實を結び、各家庭からも部献約された。來年播く優良な種子はいたゞけるのだから……

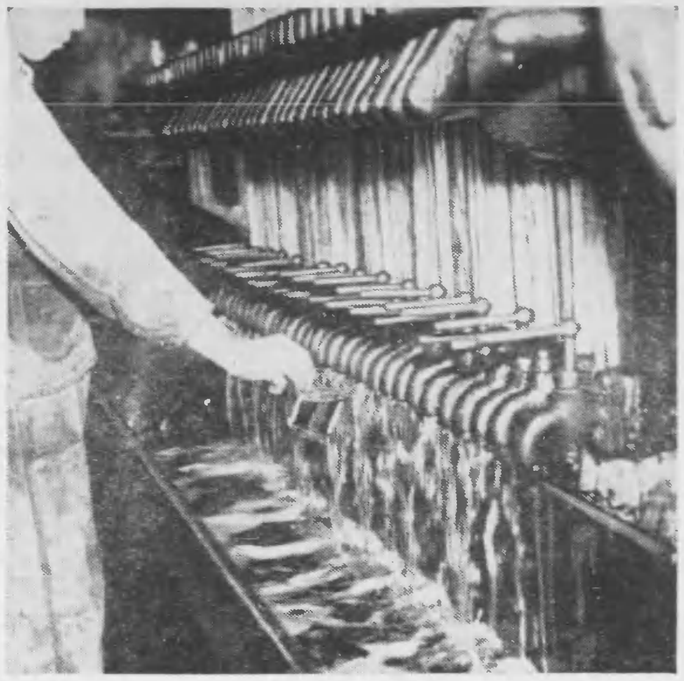
全國の皆様から献納していたゞいた蓖麻子は、ごらんのやうに東部、中部、西部の三集荷工場にどん〳〵到着してゐます。皇軍の活躍のために蓖麻を作つて献納しようと一皆様がこの運動に參加されて、この春から空地や荒地を利用して、丹念に作られた蓖麻子の集果は、一百万斤をはるかに超えようとしてゐます

一粒の蓖麻子、一滴の潤滑油が最も必要なとき、百万斤といふ皆様の汗の結晶は、強力な武器としていまこそ立派なお役に立ちます。東部の集荷工場に集つた蓖麻子は、次ぎ〳〵と次ぎへと製油機に投げ込まれ、高級な潤滑油として搾油されてゐます

やがてこの潤滑油は戰線に送られ、飛行機や戰車を動かし、皆様の愛國の至情に應へて赫々の戰果を齎すことでせう



⇦ 皆さんが丹誠した蓖麻はいまこそ潤滑油となつて勇躍出征する



⇦ 粉砕機で砕かれた蓖麻子は蒸られ、搾油機で搾られる

⇦ 搾油された粗製油（ヒマシ油）はドラム罐に詰められた

⇦ 蓖麻の油は蒸留機で精製される

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

臺灣のヒマシ献納運動

蓖麻は強く育つ ⇦

蓖麻子の献納運動は内地ばかりではなく、臺灣においても熱心に行はれ、大きな收穫をあげました

この運動は住民の各層に亘ったが、ここ花蓮港市の第五區婦人會は、本部に程近い川べりにある空地を無償で借り受け、蓖麻の栽培に當りました。一週間に一回は必ず出て、會員が丹誠した甲斐あつて、收穫は豫想外の好成績で「丹誠すればさこだけの効果は必ずある」といふ嬉しい教訓ととゝに蓖麻子献納のご奉公を果しました

⇧ 蓖麻の根を覆ひ永遠の防空訓練式リレーで、虫取りと手入れをすべてテキパキとこなす

ニコ 收穫だ！豫想外の豊かな稔りに、會員たちは一年の辛苦を忘れ、これ〜よりもっと先のお國のためを思ふ

農村と都會を結ぶ戰友愛

霧を踏んで新鮮な牛乳が驛へはこばれる　撮影　幅　忠次

一本の煙草も二人で分け合ふ心。この前線の戰友愛こそ戰ふ日本の固く團結した國民の生活物資に對する心構へでなければならない

消費地と生産地。都會と農村の間に交流する温い心やり、その上に立つて淀みなく流通する生活物資、そこに必勝生活の一つの鍵があるのだ

米も野菜も、薪も炭も、作る人達、供出する人々の辛苦と温い心やりを、使ふ人達が感謝の心でかつきりと受け止めるのだ。そこにはブロック制の垣もなく、乏しきは乏しきまゝにわけ合つて一路必勝街道を進む姿があるばかりだ

千葉から、長野から、茨城からと生産地の人達から示された好意とこれに應へる帝都の人々の感謝に示された美しい例を拾つてみよう

新鮮な牛乳が信州から上野行き列車で

遠く信州のお百姓さんから、毎日飲用牛乳が東京市へ送られてゐる。これは長野縣東信地方一千六百戸の農家で最近一、二頭宛の乳牛を飼つて、女や子供の手で立派に育て上げ、一ヶ月四百石からの牛乳を帝都の乳幼兒達のために送り出してくれてゐるのだ。この帝都への新らしい驛農地帶ここは、これら美しい農村の人々の心から生れたのだ

アルミの輸送罐が上野ゆきの荷札をつけて

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

茨城山の帝都へ冬の贈物の薪

農村と都會を結ぶ戰友愛

冬を迎へていよ〳〵切實な帝都の燃料の一助にもと農林省、東京府、市の呼びかけに應じた茨城、群馬、山梨、千葉、栃木各縣の山林に、各地の人々は懸命の鉈を振ひ、鋸を挽いてゐる。そして日夜この薪の山は帝都の驛々に續々と送り出されてゐる。やがてこの薪は市民の竈に赤々と燃え、農山村の人々の心に温かくあたゝめられるであらう。茨城縣牛久村、草崎村、こゝでは二十一名の出荷組合員によつて、六十万束の出荷が確實に行はれようとしてゐる

⇦ 嚴々と積まれの薪の塊が林間にこだまする

⇦ 村民は總出だ、一家十束づゝの自家薪供出も申合せられた

⇦ 薪、薪、薪、出荷組合の前には村民の眞心が續々とはこびこまれた

⇦ これは皆な農村の人々の眞心のこもつた薪だぞ、帝都についた薪列車からどん〳〵と下ろされた

撮影　飛田昌哉

⇦ 東京燃料商組合倉庫から配給所へと

⇦ 配給所から市民の手に薪はとゞいた。やがて農村の人々の心が赤々と燃えるのだ。そして市民の心にもほの〳〵と温かさを傳へる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

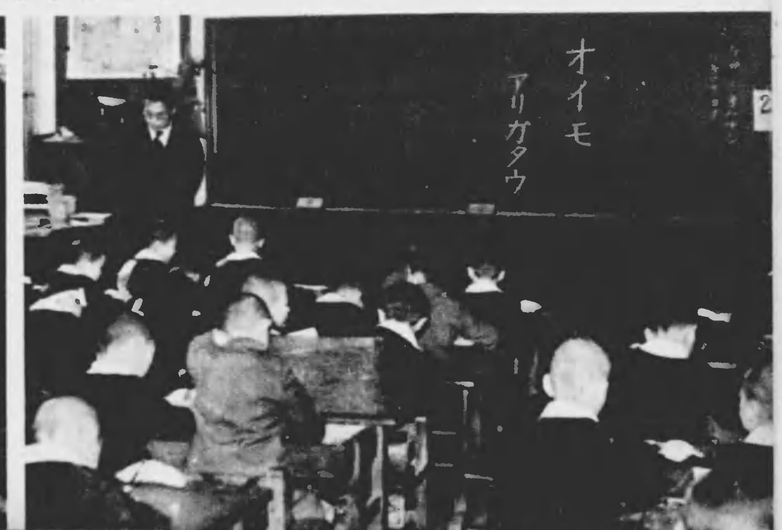
千葉のお百姓さんおいもをあげたうた

農村と都會を結ぶ戰友愛

自分達の食べる分はへらしても、野菜不足の帝都の人々によろこんでもらはうと、千葉縣海上郡の農家の人達が自家食用の『おさつ』から三戸に一俵づゝを供出して集めた一万四千貫が帝都へ贈りとゞけられました。帝都では早速市内の國民學校一、二年生三十万と託兒所の幼兒三千六百人の子供達に配つてこの美しい心を味はゝせることになりました。東京市ではこの農村の美しい企てを市政史に記錄して永く語り傳へることになりました。このわけ合ふ心こそ、勝ち抜く日本の固い團結の姿ではありませんか

⇧ 千葉縣のお百姓さん、有難う。京橋區豐明國民學校の校庭にお芋の俵がとゞきました

⇩ さあけふの獨方の題は『オイモアリガタウ』わかりましたか、澤山お禮を書きませう



⇨ 先生の手から子供のお手々へ、小春の陽ざしにぬく〳〵と温まつたお芋が配られる。温いお百姓さんの心も一緒に

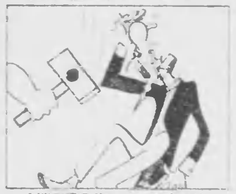
⇨ チバケンノオヒヤクシヤウサン、オイシサウナオイモヲ……

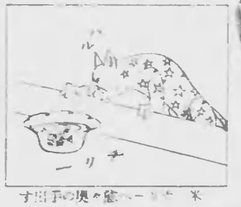
⇧ お百姓のおぢさん見てちやうだい。小さなお手々に握られてお芋も嬉しさうです

⇩ 弟達も大喜びです。大變おいしいおさつでした

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

石川 進 介





⇨ 欲しがりません、勝つまでは

小泉 柴郎

「ボクラの軍艦も戰車も、本當の軍艦や戰車にして貰って下さい。ボクらも、玩具なんか欲しくないや」

さあ二年目も勝ち抜くぞ

情報局後援「國民決意の標語」

⇨ こゝも戰場だ

榎本 陝一

店員も戰場、貴女と私は戰友です。一本の漬物でもこれでお終ひにせず半分でも分けてあげましょう

理窟言ふ間に…

森 [illegible]

⇨ たつた今！ 笑つて敵つた友もある

秋 玲二

⇨ 今日も決戰明日も決戰

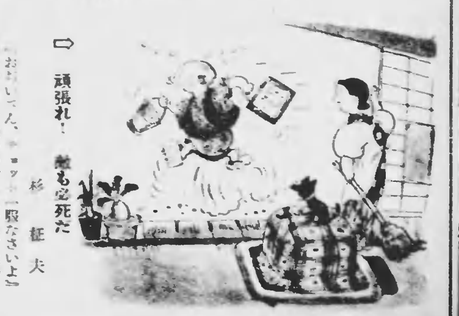
南 義郎

「獲り倉は仕様がない、カレンダー位毎日はがしなさいヨ」

「とんでもない、おばさん、僕は毎日十一月八日の積りで働いてゐるんですよ」

⇨ その手ゆるめは敵力ゆるむ

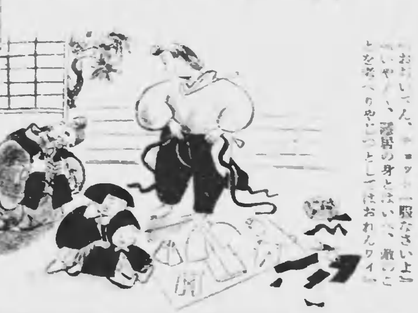
小泉 柴郎



⇨ 頑張れ！ 敵も必死だ

移 征夫

「おおいて、[illegible]」「駄なさい上」「いや〳〵、[illegible]」



⇨ 足らぬ足らぬは工夫が足らぬ

南 義郎

「お父さんの古い二重廻しでみんなが暖かくなれるワ」

へ戰爭をすべて

⇨ 銃後の人のカメラ

⇨ 銃後の士の新戰場開拓

山形縣 鈴木小次郎

近づく冬と取組んでいま獣々と増炭に敢闘をつゞけてゐる山形縣十王村の銃後組合では、新戰場感謝祭の十一月二十三日、谷間の炭焼小屋前に一同集合して新戰場を炭俵の上に供へ、食糧増産に勵むお百姓さんたちに感謝の誠を捧げました

⇨ 隣組の母子體操

名古屋市 山田 貫治

優良銃後團体として厚生大臣から表彰された名古屋市内山町内會の銃後部では、毎日多忙な産婦人にも寸暇をさいて幼兒と一緒に身體を鍛へる機會を與へるため、このほど母子體操を創案してこれを町内會に奬勵し、おひる休みなどに楽しい健民踊をくりひろげてゐます

⇨ 炭を焼く國民學校

津山市 松本 亮一

銃後村として有名な岡山縣苫田郡阿波村の國民學校では、脚足でやつてくる冬に備へて、ボクらの學校で使ふ炭はボクらの手で焼かうと、さき頃から學校の一隅に炭がまを築き父兄傳習の腕前をふるつて、ことし五百俵を目標に銃後にまつ黒になつてゐます

⇨ お互に手をとつて

日獨婦人の和常會

大阪市 山田 光明

阪神在住の日獨婦人は十一月二十六日大阪市立北市民館に五百餘名參集して初の日獨婦人常會を開催、和氣藹々たる雰圍氣の中に共同の敵を打倒する福軸婦人の固い握手が交された

★表紙

戰ひの勝利は敵に止めを刺すことにある。白兵戰において銃劍で敵の胸元を突き刺すことである

果して刺せるか、女とはいへ日本婦人である。一朝有事に際しては敵を突き刺さねばならない。銃劍術の防具を身に着けた婦人には自らこの氣魄が滿ち〳〵てくる

—大日本婦人會員の一日入營から

復習帳

本誌からあなたは何を讀んだでせうか？

1 戰爭下、われ〳〵の國民生活はまだ〳〵豊かだ。鶏や鼠の公定價さへある國がある。それは フランス？イギリス？ アメリカ？ …(6頁)

2 蓮麻の實から搾つたヒマシ油は醫藥の外に戰爭下なくてはならぬ重大な役目を果してゐます、どんな役目でせう？ …(14頁)

3 栃木縣の或る隣組の子供さんたちが行つてゐる『米英撃滅貯蓄』とは？ …(9頁)

4 大日本婦人會員の『一日入營』の目的は 銃後を調理等兵營内の軍役に奉仕するため？ 皇軍練武の生活に觸れて銃後の覺悟を固めるため？ 防空豊禦時に勤務するため？ …(10頁)

5 來年は是非蓮麻を作りたいのですが、蓮麻の種子は買へるのでせうか？ …(14頁)

6 名古屋市の一町内會の今年中の貯蓄額は三万三千餘圓に達しました。この世帯數は一三十五？ 五十？ 七十五？ 百二十？ 二百？ …(9頁)

7 この十二月中には何んで もわれ〳〵一億國民は五十錢 國を貯めねばならない。さて 一人當りにすると？ …(6頁)

8 全國の皆さんが獻納した蓮麻 子は尨大な量に達しました。 どの位と思はれますか 二万 斤？ 十万斤？ 五百万斤？ 百万斤以上？ …(14頁)

9 生産地と消費地はお互に敵○ 愛で結び合はせう …(17頁)

10 東京の子供たち三十万餘が恐 ひがけない芋の御馳走に舌 鼓をうちました。何處からの 贈物でせう？ …(20頁)

一問十點としてあなたは何點 でしたか？

海軍關係芸實の複寫複製は海軍省承認濟（第五二四二號）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

寫眞週報 昭和十七年一月十一日 第[illegible]種郵便物認可 昭和十七年十二月十六日發行（毎週一回水曜日發行） 第[illegible]百五十一號

大東亞戰爭國債

郵便局賣出

十二月七日〜十八日

大東亞戰爭第一周年記念

あの感激を
國債へ債券へ

大藏省

第六回 戰時

貯蓄報國 債券

賣出 十二月七日⇨一月七日

寫眞週報（兼醫數）

昭和十七年十二月十六日 印刷發行

編輯者 情報局 東京市麹町區永田町一ノ一

印刷者 發行者 內閣印刷局 東京市麹町區大手町

定價 一部十錢（送料一錢）

（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）

▲滿約配送御希望の方は一部十錢（送料一錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所 全國各地官報販賣所 書店・驛賣店 新聞販賣店 寫眞材料店

本誌を戰地に郵送りになる場合には送料は內地と同樣で帶封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一錢です

內閣印刷局印刷發行

（本書の大きさは國定規格A4（菊版半分））

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/